

## 就 任 の 辭

會 長 工 學 博 士 梶 井 剛

この度會員各位の御支持を得て會長の任に當ることになりました。恰も我國未曾有の大變革期に際會し協會に與へられた使命の重大を思ひ任務の光榮を痛感致してをる次第であります。

敗戦は我國萬般の方面に亘り痛烈なる打撃を與へたのでありますが、先年電信の七十年を祝ひ電話の五十年を賀した電氣通信事業も亦、明治以來營々として高度技術化を目指し一應の發展段階に到達致しました電氣通信工業と相ともに今日「<sup>キツクヘンシ</sup>慘苦の茅屋」と化したのであります。幸にして近代的工業國としての將來が展望され、まづ電氣通信事業に於ては都市の復興と共に漸時復舊が進み、逡信省當局は復舊五年計畫を有するものの如く、之に伴ふ生産力の増強が要望されてゐるのであります。既にラジオ受信機に就いては昭和二十年度に於て生産八萬八千臺に對し本年六月には月産六萬臺に迫つてゐるのであります。有線機器、無線機器におきましても夫々四億圓程度の生産見込が豫定されてをるのであります、通信工業に於ては相當光ある展望を致すことが出来るのであります。

今日我國に於きましては、ポツダム宣言の規定する所により、又我國民自身の内からの慾求として民主主義的傾向の復活が叫ばれてをりますが、凡そ「通信」の發達なくしては民主主義は正常なる開花を致し難いのであります、通信は實に民主主義の最低限度において必要な構成要件と考へられるのであります。社會學的通信論の先驅者たるアメリカのクーリー氏は「政治に於て通信は輿論を可能ならしめ、これが組織される時民主主義となる」と申してをります。又「近代民主政治」の著者ブライス氏は「アメリカの憲法は他の條件の下に於ては貴族制の基礎となつたかも知れない」とし憲法的規定の外に民主主義確保のため通信の占める重要性を強調致してをるのであります。クーリー氏によると、初期のアメリカ東部十三州が通信の發達なくして鞏固な團結をなし得たか否かは疑はしいといふのであります。プラトンよりモンテスキューに至る政治哲學は、自由なる國家は小さくなくてはならずそれは通信到達の制約があるからであるといふのであります、今日の通信は就中電氣通信として巨大なる國家はもとより「世界は一なり」とも申すべき方向をすら現實化してをるのであります。昨年十二月バーミュダに於ける英米通信協定は世界構成に於ける一なる電氣通信への胎動であるとも考へられるのであります、英米に於けるこの方面の思潮と致しましてはケント・クーパー氏の「毀されたる柵」ルイ・コールドウエル氏の「米國の新聞通信と國際電氣通信」オスボーン・マナ氏の「國際電氣通信論」等の近刊書は夫々電氣通信の經營形態、料金政策或は技術において如何にせば世界平和に寄與し得るか、如何にせば言論の自由を確保し得るか、諸國民相互の理解を増進するために電氣通信はどういふ風でなければならぬか——か様な問題を真摯に追求しつつあるのであります。マーシャルの言を借りれば「閉された世界」より「開かれた世界」への通信の解放を理想主義的に指向致してをるとも考へられるのであります。

か様に我國が將來一環として投入される世界の電氣通信界は戦時中の技術の進歩を加へて、その掲

げる理想は高く、技術は進んだものでありますが、我國電氣通信の目前は多難なものがあるのでありまして、既に一部實施されてをります對米通話に於きまして、總じて無線通信の部門に於ては甚だ我國は後れたものであつたといふことであります。私はかかる困難な時代こそ我が協會が更始一新「電氣通信」の復興發達のため御奉公を要すべき秋であると考へるのでありまして、先般協會再建のため行ひました定款の改正はかかる覺悟に基いたものであります。其の主として指向する基調は次の三點に要約することが出來ます。

第一に協會のバブルツクな性格を強調せんとするのであります。か様な性格はひとり法律の充分に許與しうるものではないのでありまして、我が協會が一層多數の會員の支持を受けることによつて量から質への轉換が企圖されるのであります。それは必然我が協會の活動分野の擴充と活動方法の積極化を意味するものでありまして、これにより協會の使命と性格がバブルツクであり、且ソシアライズされたものと爲ることが可能なのであります。

第二に協會活動の態様に於て、從來の如く消極的に「電氣通信」の外廓にのみ止まることは現下の變動期に於てはその任務を盡くすものとは言ひがたいのでありまして、客觀形勢が許し又要請する場合には自ら進んで「電氣通信」の擔ひ手たらんことを明示致したのであります。この點は最も實質的な變更でありまして、一方に於て獨占事業の弊害を除去し、自由企業の無計畫競走を緩和し、全體としての電氣通信に関する事業に對して、發達のため必要なる均衡を與へんとするのでありますと共に、他面獨占電氣通信事業に對して民主化の重要なる契機たらんとするものであります。

第三に協會活動の多面化に伴つて、多數の會員諸君の支持と創意とを充分に效果あらしめるため組織並びに運営において民主的方法を採用致したのであります。

以上は戰時中の協會の活動を反省し現下の要求に合致せんがため行ひました改正であります、重要な事は反省そのものでなく、反省によつて何が生み出されるかにあります。御承知の如く目下鋭意施策を推進致しつつありますが、それ等は會員諸君の強い御支持と御鞭撻なくては爲しがたいものであります。切に御協力を希望してやまないであります。